

令和六年度入学者選抜試験問題（教育文化学部・地域文化学科）

小論文

後期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、四ページあります。解答用紙は一枚あります。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってははいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文章の筆者は、東日本大震災後、津波被災地である陸前高田を訪れ、そこに拠点を構えながら活動していた芸術家である。この文章を読んで、後の設問に答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

瀬尾夏美著 『あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる』（晶文社、二〇一九年）より一部改変

問一 本文中で繰り返し言われる「二度目の喪失」とは何か。一度目の喪失が何かを明らかにしつつ、二〇〇字以内で説明しなさい。

問二 傍線部に関して、被災地域における矛盾とはどういうことか、本文に即して説明しなさい。そのうえで、土地の開発や再開発がもたらす矛盾について、災害復興以外の例をあげ、どのような点で矛盾があるのか、どのように対処すべきか、あなたの考えを述べなさい。文字数は七〇〇字以内。